

2023/01/31 神奈川建設重機協同組合

組合ニュース vol.653

【つる姫】女性オペレーター デザインコンペ 向の岡工業高校で表彰式挙行

神奈川建設重機協同組合では女性オペレーターの入職推進やイメージ・地位向上を目指し《クレーンガールズかながわ=つる姫》のユニット化を推進しています。

イメージキャラクターの作成について、県内工業高校にコンペを案内したところ、15作品の応募がありました。第7回理事会において協議したところ、即時採用には至りませんでした、優秀作品を『理事長奨励賞』として表彰し、受賞者(矢野茜さん)をデザインディレクターとして任命し、よりブラッシュアップした作品を今期中に作成していただくこととなりました。

1月26日、キャラクターデザインコンペに多く参加された向の岡工業高校で表彰式を挙行いたしましたのでご報告いたします。

女性オペレーターシンボルデザインでコンペ

優秀賞に矢野さん(向の岡工高)



前列左から4人目が矢野さん

神奈川建設重機協同組合(内田靖夫理事長)は、神奈川県内の工業高校の生徒を対象とした女性クレーンオペレーターシンボルキャラクターデザインコンペを実施した。この結果、県立向の岡工業高校3年生の矢野茜さんの作品が優秀賞に輝いた。

神奈川建設重機協組

26日の表彰式で同組合の戸田和善事務局長は「3K(きつい・汚い・危険)と言われた建設業界のイメージを払拭(ふっしょく)するためのイベントで、皆さんにはその一員として協力いただいたと謝辞を述べた。同組合は、女性オペレーターの入職推進と地位向上を目指し、チーム『つる姫』を立ち上げた。今回のコンペ作品はつる姫のキャラクターデザインとなる。今後、キャラクターのステッカーを作成する。ステッカーは女性が乗るクレーン車に貼り、建設業の女性活躍を後押しする。全国展開も検討している。

コンペには、向の岡工業高校の13人と小田原城北工業高校の2人の計15人が参加した。卒業後、大学で建築設計を学ぶ矢野さんは「女性クレーンオペレーターのことを考えるきっかけとなり、自分も建設業に携わる女性として勇気をもった」と話した。

5. 1. 30

建設通信新聞

5. 1. 31

日刊建設五業新聞

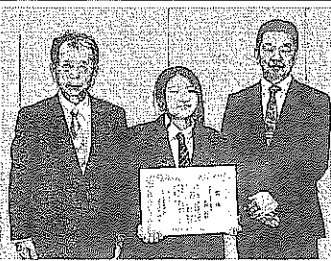
優秀賞の矢野さん表彰

神奈川建設重機協組(内田靖夫理事長)は、26日、県内の工業高校生を対象に実施した「クレーンガールズかながわ(通称・つる姫)」イメージキャラクターデザインコンテストの表彰式を川崎市多摩区の神奈川県立向の岡工業高校(居石博幸校長)で開き、優秀賞に輝いた同校3年生の矢野茜さんに松浦正道副理事長が表彰状を手渡した。

優秀賞に選ばれた矢野さんのデザインは、本人に完成度を高めてもらった上で、つる姫のイメージキャラクターとして8月末まで

に正式決定する。女性オペレーターが搭乗する移動式クレーンにステッカーなどで表示し、女性が活躍できる仕事であることを広くアピールしていく。矢野さんは「女性クレーンオペレーターについて考えてもらうための良い機会となった。将来、建築設計の仕事をしたいと考えており、今回の経験を役立てたい」と受賞の喜びを語った。

神奈川建設重機協組を代表し、あいさつした大平道成副理事長は「神奈川県内の女性クレーンオペレーターの比率は1・5%程度。輝かしい未来に向け、新しいキャラクターを送り出していくことを期待している」と述べた。つる姫は女性クレーンオペレーターの入職促進と社会的認知向上を目的に神奈川建設重機協組が設けた女性ユニットで、働きやすい環境の研究や情報発信を行う。この活動をより広く知ってもらうため、イメージキャラクターを制定する。



左から、松浦副理事長、矢野さん、大平副理事長